

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまkids		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		令和7年 3月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		令和7年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 自立した日常生活を営むために必要な訓練 コミュニケーション能力を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における基本的な生活動作の向上や集団生活への適応を目指し、来所ごとの生活の中で指導援助を行う。 ご家族の希望があった際には言語聴覚士による訓練を個別で実施できるように調整している。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家庭の困り感を共有できる環境作りを引き続き行う。関係機関との連携を行う。
2	<ul style="list-style-type: none"> 就園、就学準備 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族、ご本人の希望を取り入れ活動を計画、支援を行っている。就学前には板書の練習、立位状態での着替えや靴履き、希望者は登校練習等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく来所できるように事業所内での支援だけでなく外出支援や各種のイベント、座談会も充実していきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 各季節に応じたイベント 	<ul style="list-style-type: none"> イベントや外出先によってはご希望があれば卒園児さんにもお声掛けをしている。 地域の方やお子様との交流も兼ねてこども祭りへの参加(出店側)も行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度末にはアンケートを実施し、参加してよかったイベント、来年度企画して欲しいイベントの集計を行ったので可能な限り実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 固定曜日利用のお子様や午後から来所されるお子様への外出支援の少なさ。(外出されるお子様の偏り) 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日を利用される方は一日を通しての利用が多く外出の計画が立てやすい状況。平日のみを利用される方は来所時間が多岐にわたる。お子様によっては外出の機会がない。 外出を計画してるスタッフが偏っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全スタッフが外出を計画していく。安心安全に注意し下見を行う。事業所のみ活動だけでなく外出支援も行い楽しく来所出来る場所を目指していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信力の乏しさ。地域との交流。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務の中でSNSの更新までできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSについての知識や使い方を学び情報発信や集客、地域との交流につなげていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースの手狭さ。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育グッズ等が活動スペースにある。 	<ul style="list-style-type: none"> 倉庫の購入。活動によっては地域資源の活用を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 おひさまkids

公表日 令和7年 3月 18日

利用児童数 令和7年 3月 18日 回収数 32

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	3		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32				・いつもたくさん職員がいると感じます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32				・空間を間仕切りで区切られているので気持ちを切り替える時など分けて使われており工夫されている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	3			・収納場所が限られているとは思いますが教材が玄関から見えています。間仕切りはいかがですか？	・貴重なご意見ありがとうございます。物置きの購入を検討しています。限られた活動スペースを少しでも広くできるようにしていきます。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32				・子供のペースに合わせて待ってくれたり時には頑張るように促してくれます。 ・自己表現が苦手な子だが態度ヒントを示し本人の答えを導き出してくれる。 ・はさみの使い方、お箸替えなど早く上手に出来るようになりました。家では中々練習が出来なかったので子供に合わせた支援をしていただいています。 ・一人ひとりを大切に、親も気付かないような事に気付いて下さり感謝の気持ちでいっぱいです。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31			1	・就学に向けて心配な部分を計画に盛り込んでもらい集中的に支援してもらっている。・面談のたびに細かく取り組んで欲しい課題や悩みについて聞いて下さりありがたいです。親としても気付けられます。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30			2	・まだ期間が短いので分かりません。	・貴重なご意見ありがとうございます。周知が出来ておらず申し訳ございません。面談時に改めてお伝えできるように改善していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31			1	・希望でお伝えしたことは積極的に取り入れてくれてとても良いです。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32				・新幹線の話から電車の乗降練習をして下さり大変ありがたかったです。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	2	3	6	・様々な行事や催し物があり子供が楽しく通っています。	
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30			2	・先日の相談会とてもためになりました。ありがとうございました。・言語聴覚士の先生とお話をさせていただく機会もありその都度ご案内してもらっています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	32				・通所日には毎回レポートが作成されておりそのおかげで状況を十分に知ることが出来る。 ・通所の度にその日のことをしっかり伝えてくれます。(良いことも頑張ることも)	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32				・定期的もそうですしこちらが希望すれば面談してくださいませ。 ・面談をしていただき前向きに過ごせています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32				・相談内容を最後までしっかり聞いていただき、決して否定される事なくアドバイスをいただいています。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	29	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん遠慮して会話が弾みにくいので聞きたい事とかテーマがあると話が弾むかもしれません。 ・いつも家族で参加させていただきありがとうございます。 	・貴重なご意見ありがとうございます。来年度の実施時はテーマを決めて実施します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の申し入れをよく聞いて下さりそれに対して柔軟に対応して下さる姿勢がよく伝わってきます。 ・保育園で懇談した内容を事業所と共有させていただきその内容を支援内容に組み込み実践していただきました。 	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの更新をフォローしていない人は分かりにくいかなと思います。 	・貴重なご意見ありがとうございます。更新した際には書面でお知らせをしていますが最近はできておらず申し訳ございません。来年度は発信方法を再度検討します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの認識不足なのですがそれぞれのマニュアルについてわかっておりません。 ・災害の時の避難場所が知りたい。（地震や不審者） 	・貴重なご意見ありがとうございます。マニュアルや避難場所について周知が出来ておらず申し訳ございません。見学や面談時にお伝えできるように改善していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練をしていただいているので子供も内容を理解し家でも教えてくれます。 	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30		2		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32			<ul style="list-style-type: none"> ・不安定な時もありましたがすぐに対応して下さり有難かったです。 ・先生達はみんなとても明るくて親も安心して預ける事が出来ています。 ・とても優しく丁寧に接してもらっているため、のびのびと通うことが出来ている。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	2		<ul style="list-style-type: none"> ・行く時は泣きますが楽しかったと帰って来ると満足しています。 ・事業所での学習が楽しいと言って毎回課題のプリントの事を説明してくれる。 ・子供が頑張ろう！と思える方法を沢山考えて下さっており感謝でいっぱいです。事業所に行った帰りに「ママ楽しかったよ」と嬉しそうに教えてくれます。楽しみながら学ぶことが出来ているのだと思います。 ・母と離れるのが嫌、勉強が嫌などの理由で嫌だということがありますが療育後は楽しかったと言っています。 	・貴重なご意見ありがとうございます。引き続きお子さん楽しく通っていただけるようにスタッフ一同取り組んでいきます。母子（父子）分離時に涙が出るお子さんもおられるので、ご家族の方にも安心して預けていただけるようにその後のフォロー（落ち着いたところにご連絡させていただく等）も行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32			<ul style="list-style-type: none"> ・子の自己肯定感を高めてもらったり、子本人が自信をもって行動できるようになった。 ・子供の成長をとても感じています。保育園とも両立が難しいですが療育を受けられてとても良かったです。先生たちがとっても笑顔でくつろげるのだと思います。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おひさまkids		公表日		令和7年 3月 18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・昼食の時間など考えて工夫している。 ・倉庫の購入を検討しています。	・午睡される際、午後からの来所が多い日には工夫しても場所の確保が難しく感じる事がある。 ・療育グッズの置き場所の改善が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・送迎スタッフや見守りスタッフの確保（人材の確保）を行っています。	・職員の人数は足りているが、利用時の状態や送迎時、帰宅時に手薄になると感じる事がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・男の子用の便器やトイレ型オマルを購入し少しでも排泄環境を整える工夫をしている。	・トイレや活動スペース（手狭）に改善が必要です。洋式トイレのため、立位状態で排尿をする際、年齢が低いお子様は難しく感じる事がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日始業前後に行っている。	・細かなところまで行き届いていないのが現状なので来年度の課題です。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		・気持ちが崩れた際にクールダウン出来る場所の確保が必要だと感じる事があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3		・利用児やスタッフによっては出来ていないと感じる事がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		・特定のスタッフが決めていることがある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・ご希望時には園訪問を実施している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28~30は、センターのみ回答)	/	/		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	/	/	4	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・本年度は出店者側（お菓子屋さん）でこども祭りに参加しました。地域の方や子供と触れ合う機会を持っています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・言語聴覚士の先生の研修、卒園時の保護者の方をお呼びして就学に向けた座談会等を開催しました。	・来年度は参観日の開催を検討しています。 ・ペアレントトレーニングは行えていないが保護者の参加が出来る研修がある。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・茶話会の実施や夏祭りやクリスマス会の後に保護者同士で交流が出来る機会を支援しています。 ・イベント時、ご希望がある際にはご兄弟の参加を歓迎しています。	・ご家族同士でお話をする際には遠慮されて会話が弾みにくいことがあるのでテーマを決めて行います。 ・兄弟同士が交流する機会はありません。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	2	・不定期ではありますがインスタグラム、アメブロを更新しています。	・更新頻度と更新時のお知らせの仕方が来年度の課題です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・子ども祭りへの参加、散髪ボランティアの実施、夏祭りの時は近所の方への声掛け等を行っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・プロフィールシートでの確認や面談時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	・ご家族にその都度確認を取っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	1		・周知が不足しているので来年度の課題です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・支援終了後のミーティング時やヒヤリハットが発生した際には再発防止に向けて対策、実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・身体拘束未実施		